

足踏み試飲器を導入し非接触による 試飲・販売会を開催

山梨県酒造協同組合

山梨県酒造協同組合（北原兵庫理事長 組合員 13 社）は、11 月 18～25 日にイトーヨーカ堂甲府昭和店と連携して「山梨の日本酒で乾杯！水系ごとに楽しむ山梨の酒」と題した試飲・販売会を開催した。

新型コロナウイルスの影響で外出が控えられたことで消費の落ち込みが続いている。年末年始の帰省や旅行も自粛となることが予想され、家族や友人と顔を合わせることができない分、お歳暮を贈る人が増加する傾向もあり、日常生活においても「外飲み」から「家飲み」需要に消費者動向が変わってきている。

そこで組合では、これまで贈答品とする時にも試飲の機会がなかったことやコロナ禍で大切な人に納得した商品を送る機会として欲しいと考え、組合員の中の 8 つの酒蔵から国際品評会や東京国税局の酒類鑑評会等で高い評価を得た県産日本酒をはじめ 50 品種を揃えた試飲即売会を開催することとした。試飲の際にも、検温、手指消毒のうえ、ペダルを踏むと一定量の日本酒が注がれる「踏み試飲器」を導入したことで、非接触による試飲が

可能になった。

来場者からは、「足踏み試飲器による試飲は初めて。お歳暮選びは迷うことが多いが、試飲して選べるのは嬉しい。」と語った。

小宮山事務局長は、「10 月ま

では“試飲なし”で販売会を開催していたが、飲んでもらわないことには売りづらかった。非接触による試飲ができるようになったことで、親戚や友人などに送る贈答用のほか、自宅用の購入も増えている。」と評価した。

期間中、酒蔵の若手経営者や後継者によるトークショーも行われ、酒造りや酒の選び方、食との合わせ方など、山梨県産の日本酒需要拡大のために業界が一丸となって販路拡大、知名度向上に向けた取り組みとなった。

